

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月15日

【評価実施概要】

事業所番号	0272700741
法人名	社会福祉法人信和会
事業所名	グループホームこもれびの家
所在地 (電話番号)	〒031-0202 青森県八戸市南郷区大字島守字中野沢22-1 (電話) 0178-60-8170

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年12月4日	評価確定日	平成22年2月15日

【情報提供票より】(平成 21年 11月 10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 2月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	14人, 非常勤 人, 常勤換算 14人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	14,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(11月 10日現在)

利用者人数	16 名	男性	3 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	6 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 81 歳	最低	64 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	於本病院、一松堂医院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

こもれびの名のとおり、松林に差し込む日差し美しい環境の中にホームがある。利用者が安心して暮らせるよう「私達は、利用者皆様方の思いに温かい心で寄り添い、家庭的な安らぎのある生活を支援します」を理念に掲げ、地域密着型サービスの役割を反映させている。利用者に合わせて毎月のドライブや行事等が計画され、楽しまれている。また、地域の行事へ積極的に参加され、ホームの行事へは地域の方を招き交流が図られている。
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	年間研修計画を作成し、研修が行われている。介護計画見直しの際、情報収集し再アセスメントを行い、計画を作成している。玄関に鈴等を取り付け、利用者が外出する様子がわかるようにし、鍵をかけないケアに取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員が評価の意義を理解し、ミーティング等で話し合いが行われ、日々の生活に活かせるよう取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回行い、サービスや評価等について話し合わせ、意見や情報を頂いている。会議内容はミーティング等で報告し、話し合いがされサービス向上に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	こもれび通信・面会時・電話等で健康状態や暮らしぶりの報告をし、金銭管理は個々に合わせた報告がされている。意見・苦情については、委員会で話し合い改善に取り組んでいる。また、運営推進会議にも提示し、意見を頂き運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	学校の通学路でもあり、生徒と気軽に挨拶を交わしている。地域の行事等へは積極的に参加され、ホームの行事へは呼びかけを行い参加してもらい交流が図られている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で話し合い、「私たちは、利用者皆様方の思いに温かい心で寄り添い、家庭的な安らぎのある生活を支援します」というホーム独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフルームやホール等に掲示している。定期的にミーティング等で話し合い、日々のケアに活かすよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会の行事等へ参加したり、ホームでの行事に地域の方へ参加を呼びかけ交流を図っている。ホームの前の通りが学校の通学路であるため、生徒と気軽に挨拶を交わしている。しかし、地域の認知症普及活動等への参加がなされていない。		市や支援センター等で行われる活動に参加する等、地域の認知症普及活動等に取り組むことを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全員が自己評価・外部評価の意義を理解し、評価結果については、ミーティング等で話し合わせ、日々のサービスに活かせるよう取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回行われている。市職員・地域の方・家族から意見や情報を頂き、ミーティングで話し合いを行い、サービスの向上に活かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>疑問や質問を市の担当者に電話で相談したり、生活保護担当者とも連携を図りながら、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護事業や成年後見制度について、学ぶ機会が無い。</p>		<p>権利擁護事業や成年後見制度の研修に参加し、職員で学ぶ機会を持つことを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人内で虐待の研修が行われ、理解を深めている。日々のケアの中で虐待となっていることが無いが、注意を払っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は利用者・家族に十分な説明を行い、わからない点についても丁寧に対応し、理解と納得の上で同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回のこもれび通信・面会時・電話等で健康状態や暮らしぶりの報告がされている。また、金銭管理は定期的に個々にあわせた報告がなされている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付窓口は契約書に明示している。出された意見・苦情については、委員会で話し合い改善に取り組んでいる。また、運営推進会議にも提示し、意見等を頂き運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動時には、十分な説明を行い、利用者の動揺を最小限に抑えるよう、時期や引継ぎの面で最善の配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画があり、初任者研修や継続研修が行われている。また、研修委員会があり、勉強会を企画し、実施している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の研修や市主催の研修に参加し、勉強会や情報交換を行い、他グループホームと交流を図り、サービスの向上に活かしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者・家族と相談して、使い慣れたものを持ち込み、利用者が安心して生活出来るように工夫している。また、職員も会話に入り、他利用者と馴染めるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の話しを良く傾聴し、人生の先輩として学んだり、共同して生活する中で、苦しみ・不安・喜び等を知ること努め、共に支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者と一緒に散歩に行った時や、日々のかかわりの中での会話や行動から、意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族の意向が盛り込まれており、法人内の看護師と連携しながら、介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月ごとに作成しているが、利用者の心身状態の変化がある場合は随時見直しを行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院や入退院の送迎支援やデイサービスでの入浴介助など、ホームの多機能性を活かした支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族が希望するかかりつけ医となっている。また、精神科の往診もあり、利用者の診察や相談などを受ける機会を設けている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に重度化した場合や終末期のあり方について家族やかかりつけ医と話し合い、対応を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳を守り、プライバシーの保護に努めている。利用者への言葉かけや対応に配慮している。また、個人情報も訪問者に見えないよう指定された場所に保管している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務を優先するのではなく、利用者のペースに合わせて柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と一緒に食事の準備、後片付け等を行っている。また、週1回は利用者と職員で夕食の献立を考え、買い物をしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回と入浴日は決まっているが、回数や時間帯等について希望があれば柔軟に対応している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>手芸、草取り、野菜づくりなど今まで自宅で行っていたことを活かし、利用者一人ひとりが役割を持ち、楽しく生活できるよう支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>ホームの周りは散歩できるよう整備されており、日常的に散歩は行っている。買い物やドライブ等もその日の状態に合わせ支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修を行い、「身体拘束をしないケア」に積極的に取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアに取り組んでいる。玄関に鈴等を取り付け、利用者が外出する様子がわかるようにしている。外出する場合は、職員が付き添っている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回法人全体で避難訓練を実施している。また、地域の協力体制もできている。		火災想定訓練は年2回行われているが、地震、水害等を想定した訓練を取り入れることに期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の管理栄養士が献立を作成し、栄養バランスのとれた食事を提供している。また、利用者一人ひとりの摂取状況を把握している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルが作成されており、定期的に勉強会を開催している。また、感染症の情報は家族にも周知している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースは、季節感のある装飾をし、また、大きな窓からは、利用者が作った畑や花壇を見渡せる。テーブルやソファもゆったりとしており、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が使い慣れ、親しんだ物を持ってきていただいている。写真や仏壇なども持ち込んでいる方もいる。</p>		

 は、重点項目。